



写真：韓国岳から大幡山方面縦走路途中、大幡池のケルン（撮影：令和3年12月20日）

「ケルン」

登山者の軌跡

たぐさんのハイキングコースの出发点となるえびの高原。代表的な白鳥山をはじめ百名山である韓国岳。さらに縦走すれば獅子戸岳、大幡池などを抜けることができます。

登山道の途中、たぐさんの石が積み上げられているのを時々見かけます。大きなものでは人の背丈ほどの高さまで積み上げられています。これは「ケルン」と呼ばれるもの。いたずらに積み上げたものもありますが、元は登山道の道標道しるべです。現代は登山道沿いに看板類がありますが、古い時代は登山者自ら道しるべを作りました。岩がゴロゴロしている稜線沿い、特徴的な地形や木が無いところなど、基本的に迷いやすい場所で作られています。

もしケルンを見かけたら、それは何十年、もしかしたら百年以上前にその道を通った登山者が作ったものです。先人たちが積み上げてきた足跡に思いをはせながら、安心安全な登山を楽しんでいただきたいと思います。

（文）えびのエコミュージアムセンター

